



here

ケーススタディ

# バス運行のリアルタイムの可視化を実現

デザイニウムが位置情報テクノロジーを活用し、会津若松での移動体験を改善

デザイニウムのニーズ:

地域における会津バスのサービス向上を支援する

[詳しく読む](#)

HERE が提供:

地図情報、API、開発ツール等の位置情報テクノロジー

[詳しく読む](#)

デザイニウムの成果:

乗客の乗換案内利用時の顧客体験向上に寄与する位置データ活用ツール

[詳しく読む](#)



デザイニウムのニーズ:

## 地域における会津バスのサービス向上を支援する

福島県会津若松市を拠点とする企業のデザイニウムは、アプリケーションの開発を専門に手がけています。Samurai MaaS プロジェクトの参加企業として、会津地域内での移動体験改善に取り組んでいました。

### 状況:

観光産業は、福島の会津地域にとって非常に重要です。この地域は、修学旅行の目的地として人気があります。戊辰戦争の戦場となった鶴ヶ城があり、また江戸時代の若き武士の集団である白虎隊が生まれた場所でもあるためです。



### 課題:

観光客が訪れる中心的な地域であるものの、名所を回る会津バスの時刻表は停留所やウェブサイトで確認する必要があり、天候等に起因する突発的な運行変更や遅延情報を即時に収集出来る環境が整っていませんでした。

乗客には、バスが今のあたりなのか、停留所までの距離はあとのくらいか、予定より遅れているのか、運休になっていないかなどを知る手段がなかったのです。会津若松市は豪雪地帯でもあるため、突発的な悪天候に見舞われた場合には特にそのような情報が重要になります。

GTFS (General Transit Feed Specification) データの更新が外部委託されていることもあり、会津バスの運行管理責任者においても、バスのリアルタイムデータの活用が限られていました。

## Designium

デザイニウムについて  
会津若松市と東京に拠点を  
持つデザイニウムは、テク  
ノロジーおよびデザイン企  
業です。同社は主に、アプリ  
ケーション、API およびクラ  
ウド、センサーおよびハード  
ウェアという3つの領域で  
製品やシステムを開発してい  
ます。

### Q: Samurai MaaS プロジェクトとは何ですか?

A: Samurai MaaS (Mobility-as-a-Service) プロジェクトとは、会津地域を対象とした政府のスマートシティ構想の1つで、国土交通省からサポートを受けながら進めていたプロジェクトです。



## 関係者:

デザイニウムには、すでに会津地域でいくつかのプロジェクトのアプリおよび UX の開発実績がありました。同社は Samurai MaaS プロジェクトを通じて、地域の交通を支える会津バスに向けて、より有用なシステムの構築に乗り出しました。三菱商事はプロジェクト管理の側面から参加するだけでなく、デザイニウムに HERE を紹介し、さまざまな位置情報テクノロジーの活用方法を提案しました。

これによってデザイニウムは、HEREが提供する位置情報テクノロジーを活用し、乗客の移動体験を向上するために必要なシステムを構築することが出来ました。

「今回のソリューションのキーワードは『リアルタイム』です。そしてそれこそ、HERE が提供できるものです。会津バスは、以前にはなかった『リアルタイムな情報』を手に入れたのです」

- 三菱商事 HERE プロジェクト室アシスタントマネージャー (取材当時)、中田崇文氏



- 三菱商事 HERE プロジェクト室アシスタントマネージャー (取材当時)、中田崇文氏



三菱商事株式会社について  
三菱商事は、世界約90の国・地域に広がる当社の拠点と約1,700の連結事業会社と協働しながらビジネスを展開しています。

\*\*\*\*\*

天然ガス、総合素材、石油・化学ソリューション、金属資源、産業インフラ、自動車・モビリティ、食品産業、コンシューマー産業、電力ソリューション、複合都市開発の10グループに産業DX部門を加えた体制で、幅広い産業を事業領域としており、貿易のみならず、パートナーと共に、世界中の現場で開発や生産・製造などの役割も自ら担っています。





HERE が提供:

## HERE、データ活用と API による位置情報テクノロジーを提供



HERE のTransit API を活用するデザイニウムのアプリは、乗客がリアルタイムに車両の位置や運行状況を追跡できるような機能を提供しています。また、交通や天候の状況に応じたルート変更に必要な情報を提供する HERE のルート検索 API により、バスの運行管理者は運転手に最新情報を知らせることができるため、運転手は迅速に対応することができます。会津バスはこのような新しい取組みを通じて、顧客満足度の向上だけでなく、会津若松に訪れる観光客の増加につながることを目指しています。

「可視化が進み、優れた移動手段があれば、もっと多くの人々が魅力あるこの土地を訪れるでしょう」

- デザイニウム

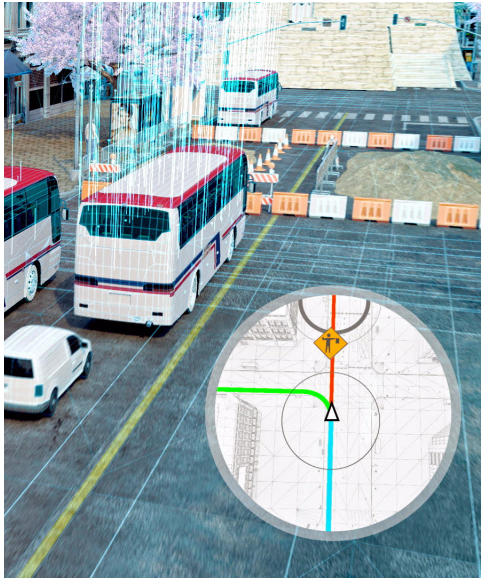
### HERE がどのように支援したか

三菱商事から HERE を紹介されたデザイニウムは、HERE プラットフォームを使用してバスの運行システムを構築しました。その結果、HERE の各種 API によりリアルタイムな可視化を実現し、遅延や一時的な変更を含め、いつでもバスの運行状況に関する情報を提供できるようになりました。



デザイニウムの成果:

## 乗客の乗換案内利用時の顧客体験向上に寄与する位置データ活用ツール



### ソリューション:

観光が盛んな地域としてさらに成長するために、会津バスはより良い体験を乗客と観光客に提供する必要がありました。そこで会津バスは、会津の観光名所をつなぐバスの運行状況をリアルタイムで更新し、正確な到着時刻を予測するサービスを提供したいと考えたのです。目標は、ライドシェア(相乗り)アプリと同様に、バスの現在地がリアルタイムで分かるようにすることでした。

これまで会津バスでは、GTFSデータの更新を外部委託していました。この更新作業は完了までに数日を要する上、更新頻度にも課題があり、最適な状態とは言えませんでした。会津バスは、HERE APIと、デザイニウムが開発したシステムを使用することで、GTFSデータをリアルタイムに更新し、さまざまなアプリケーション経由で情報を提供するとともに、乗客に自動でアラートを送信できるようになります。

「HEREのプラットフォームは素晴らしい位置情報テクノロジーを備えており、今回のプロジェクトではさまざまなAPIとHERE Workplaceを活用させていただきました。データを蓄積して活用する仕組みがあり、プラットフォームとして非常に役立ちました」

- デザイニウム

### 結果



バスの運行状況の追跡



運行効率の向上

(交通状況や天候条件を考慮したシームレスなルート再設定など)



乗客への遅延や運休情報の伝達



今後の運行を正確に予測するための独自データの収集・更新



顧客満足度の向上と、観光客の増加



# リアルタイムの可視化の力を業務に活かせましょう

質問およびお問い合わせはありますでしょうか。位置情報テクノロジーはどのように役立つのか？ HERE ではどのような種類のデータおよびサービスを提供しているのか？ 統合は簡単にできるのか？ HERE のエキスパートがこのような質問にお答えした上で、さらに詳しくご説明します。変革につながる位置情報テクノロジーのパワーを確かめてみてください。

問い合わせる

位置情報テクノロジーがビジネスを改善する方法は無数にあります。以下の詳細をご覧ください。



▶ ソリューション:  
HEREプラットフォーム



▶ ブログ:  
2022年、次にサプライチェーンに起こる注目の出来事とは? リアルタイムの可視化(英語)



▶ ブログ:  
2022年のフリートマネジメントはどうなるのか?(英語)

## HERE Technologies について

位置情報データおよびテクノロジー プラットフォームを提供する HERE は、位置情報を活用して人、ビジネス、都市の未来を切り開きます。オープン プラットフォームを活用して、都市のインフラストラクチャー管理や企業の資産（アセット）の最適化を支援すること、およびドライバーが目的地に安全に到着できるように案内することなど、お客様が優れた成果を達成できるようサポートします。新世代のクラウドベースの位置情報プラットフォームで提供しているさまざまなサービスなど、HERE の詳細については、[360.here.com](https://360.here.com) (英語) および [www.here.com/jp](https://www.here.com/jp) をご覧ください。

We're HERE



360°



▶ 問い合わせる

